

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「なつまち」を活用したアニメ&インバウンドツーリズム事業
事業主体 (連絡先)	なつまちおもてなしプロジェクト (小諸市相生町3丁目3番3号 電話 0267-22-0077 代表 富岡 正樹)
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	799,200円 (うち支援金: 599,000円)

事業内容

今年度はインバウンド集客及びファン拡大を仕掛ける事業を行った。

①完全版聖地巡礼マップの整備

新スポットとして「小諸駅」「珈琲こもろ」「安藤百福センター」の特別編のシーンを追加した完全版の聖地巡礼マップを作成し、来街者への新たな情報提供を行った。

②インバウンド向け聖地巡礼マップの制作

マップパンフはバイリンガル表示とし、日本語・英語版と日本語・中国語(簡体字・繁体字)版の2種類を各国に合ったデザインで制作した。また、この制作したツールを小諸市の台湾プロモーションを中心にインバウンド旅行博、商談会等で誘客ツールとして使用しPRした。

③インバウンド翻訳(英語・繁体字・簡体字の3言語)



【インバウンドマップ制作】

【目標・ねらい】

- ①小諸市インバウンド誘客拡大
- ②アニメファンの継続拡大
- ③業種連携した事業展開

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

主だった効果として、なつまちおもてなしプロジェクトのフェイスブックページのファン数が2241人に増加。ツイッターのフォロワー数も3081人と今年度事業開始前と比べ、飛躍的にファン数を獲得することができた。また、その約30%が海外ファンで、海外のファンに対しても、国内ファン同様に拡大が出来たと考える。今年度は特に、「なつまち」をインバウンドPRに事業展開したことで、小諸市のインバウンド誘客宣伝の一端を担った。

※自己評価【A】

【理由】

ファンの拡大とインバウンド誘客という2大目的を達成できている為。今後への発展も更に期待できる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

次年度が「あの夏で待ってる」のアニメの5周年にあたる年になる為、5周年を機とした発展的な展開を模索したいと考えている。インバウンド誘客に関しては、小諸市が参加した各種商談会でのツール使用を今年度から開始している為、継続的に使用し、旅行社やインバウンド客からの要望等があれば随時更新をしていきたいと考えている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある